

# 認定書

国住指第 3687 号  
令和 3 年 3 月 1 日

株式会社 鶴弥  
代表取締役社長 鶴見 哲 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PC030BE-3914(1)
2. 認定をした構造方法等の名称  
人造鉱物繊維断熱材充てん／陶磁器質板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名

人造鉱物繊維断熱材充てん／陶磁器質板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

## 2. 寸法

壁高及び壁幅については、構造計算等により構造の安全性が確かめられた寸法とする。

## 3. 材料構成等

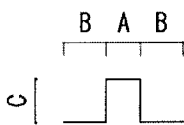
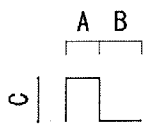
項 目	製 品 仕 様
外 装 材	陶磁器質板 組成 (mass%) 山土粘土 38±10 三河粘土 28±10 水ひ粘土 29±10 シヤモット 6以下 その他 15以下 表面化粧仕様 塗料の種類：a又はbのいずれかとする。 a. なし b. 釉薬(ガラス素材) 塗布量(g/m <sup>2</sup> )：5(±1.0)以上 表面コーティング材 種類：a又はbのいずれかとする。 a. なし b. 酸化チタン 塗布量(g/m <sup>2</sup> )：0.1(±0.02)以上 形状：平板 表面の形状：平滑又はエンボス・溝模様 端部形状(陶磁器質板相互の重なりと隙間) 重なり(mm)：19(±2)以上 表面隙間(mm)：4(±1)以下 厚さ(mm)：20(±1.6)～30(±1.6)(中空品) かさ比重：1.0以上(絶乾) 大きさ 働き幅(mm)：303～455(±3.0) 長さ(mm)：900～2400(±1.0) 断面形状 最小厚さ(mm)：17(±1.0)以上 エンボス・溝模様の容積欠損率(%)：6.0(±0.8)以下 (陶磁器質板全体積(合じゃくり部を除く)に対する陶磁器質板裏面から20mm以下のエンボス・溝の欠損容積の割合) 縦目地の種類：a又はbのいずれかとする。 a. 目透かし目地(目地幅10±2.0以下) b. 突付け目地

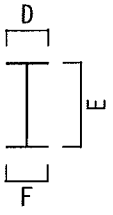
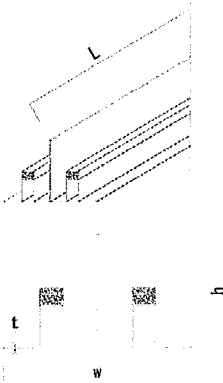
項	目	製 品 仕 様
外 装 材	陶磁器質板	<p>飛散防止材 種類：a から d のいずれかとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. なし</li> <li>b. 無機系繊維不織布</li> <li>c. ガラス繊維</li> <li>d. 無機系繊維不織布+ガラス繊維</li> </ul> <p>質量(g/m<sup>2</sup>)：5(±1.0)以上 メッシュ間隔(mm)：15×15 以下 接着剤 種類：a から h のいずれかとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. ウレタン系</li> <li>b. 酢酸ビニル系</li> <li>c. アクリル系</li> <li>d. エポキシ系</li> <li>e. シリコン樹脂系</li> <li>f. ポリオレフィン系</li> <li>g. ゴム系</li> <li>h. なし (飛散防止剤なしの場合)</li> </ul> <p>塗布量(g/m<sup>2</sup>)：150(±10)以下 止水シール 種類：a 又は b のいずれかとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. なし</li> <li>b. 弾性樹脂</li> </ul> <p>使用量(g/m)：18(±1.0)以下 張り方 方法：a. から c. のいずれかとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 横張 (イモ張り)</li> <li>b. 横張 (ウマ張り)</li> <li>c. 上記 a. と b. の組み合わせ</li> </ul> <p>固定方法 金具留め</p>
下 地 材	たて枠、上枠 及び下枠	<p>種類：平成 13 年国土交通省告示第 1540 号第二第一号に基づく、a から d のいずれか による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a. 枠組壁工法構造用製材(JAS)</li> <li>b. 枠組壁工法構造用たて継ぎ材(JAS)</li> <li>c. 集成材(JAS)</li> <li>d. 単板積層材(JAS)</li> </ul> <p>断面寸法(mm)：38×89 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：0.36(±0.1)以上 たて枠の取付け間隔(mm)：610 以下</p>

項 目	製 品 仕 様
下 地 材  胴縁(必要に 応じて取付 ける)	<p>種類：木材 材質：a から f のいずれかとする。</p> <p>a. 平成 13 年国土交通省告示第 1540 号に適合する壁のたて枠材 b. 日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、造作用製材または下地用製材 c. 日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材または集成材 d. 日本農林規格に適合する構造用単板積層材または造作用単板積層材 e. 日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材または構造用たて継ぎ材 f. 平成 12 年建設省告示第 1452 号に規定する無等級材</p> <p>厚さ(mm)：12以上 幅(mm)：38以上 (ただし、陶磁器質板の短辺方向の目地部は、厚さ 12 以上、幅 60 以上又は、厚さ 12 以上、幅 38 以上を 2 列とする。)</p> <p>取付け間隔(mm)：610 以下</p>
外装用構造 用面材	<p>種類、規格等：1) から 4) のいずれかとする。</p> <p>1) 木質系ボード</p> <p>a. 製材(JAS) 厚さ(mm)：9 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：0.55±0.07 以上</p> <p>b. 構造用合板(JAS) 厚さ(mm)：9 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：0.53±0.07 以上</p> <p>c. 構造用パネル(JAS) 厚さ(mm)：9 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：0.57±0.07 以上</p> <p>d. パーティクルボード(JIS A 5908) 厚さ(mm)：9 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：0.63±0.08 以上</p> <p>e. ミディアムデンシティファイバーボード(JIS A 5905) 厚さ(mm)：9 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：0.70 以上</p> <p>f. シーリングボード(JIS A 5905) 厚さ(mm)：12 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：0.33~0.42</p> <p>2) セメント板</p> <p>a. 木片セメント板(JIS A 5404) 厚さ(mm)：12 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：0.83±0.08 以上</p> <p>b. 木毛セメント板(JIS A 5404) 厚さ(mm)：15 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：0.6±0.06 以上</p> <p>c. パルプセメント板(JIS A 5414) 厚さ(mm)：9 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：0.7±0.07 以上</p> <p>d. フレキシブル板(JIS A 5430) 厚さ(mm)：9 以上 密度(g/cm<sup>3</sup>)：1.5±0.2 以上</p>

項 目		製 品 仕 様
下 地 材	外装用構造 用面材	<p>e. けい酸カルシウム板(JIS A 5430)  厚さ(mm) : 9 以上  密度(g/cm<sup>3</sup>) : 0.8±0.10 以上</p> <p>f. 両面アクリル系樹脂塗装/パルプ・けい酸質混入セメント板(QM-0457)  厚さ(mm) : 9 以上  密度(g/cm<sup>3</sup>) : 0.9±0.09 以上</p> <p>g. アクリル樹脂系塗装/繊維混入スラグせっこう板(NM-0834)  厚さ(mm) : 9 以上  密度(g/cm<sup>3</sup>) : 0.83±0.08 以上</p> <p>h. 繊維混入けい酸カルシウム板(NM-8578)  厚さ(mm) : 12 以上  密度(g/cm<sup>3</sup>) : 0.35±0.15 以上</p> <p>3) 火山性ガラス質複層板(JIS A 5440)  厚さ(mm) : 9 以上  密度(g/cm<sup>3</sup>) : 0.60±0.06 以上</p> <p>4) せっこうボード製品  規格 : JIS A 6901  形状 : 平板  表面の形状 : 平滑  端部の形状 : スクエア、テーパ―又はベベル  厚さ(mm) : 9.5 以上  密度(g/cm<sup>3</sup>) : 0.65 以上  張り方 : 縦張り又は横張り</p>
	内装材	規格 : JIS A 6901(せっこうボード製品) 形状 : 平板 表面の形状 : 平滑 端部の形状 : スクエア、テーパ―又はベベル 厚さ(mm) : 9.5 以上 密度(g/cm <sup>3</sup> ) : 0.65 以上 張り方 : 縦張り又は横張り
断 熱 材	人造鉱物織 維断熱材	種類、規格等 : a 又は b のいずれかとする。 a. グラスウール 規格 : JIS A 9504、JIS A 9521 又は JIS A 6301 厚さ(mm) : 50 以上 密度(kg/m <sup>3</sup> ) : 10(±2.0)以上 b. ロックウール 規格 : JIS A 9504、JIS A 9521 又は JIS A 6301 厚さ(mm) : 50 以上 密度(kg/m <sup>3</sup> ) : 20 (±3.0)以上

項 目	製 品 仕 様
副 構 成 材 料	<p>留め金具</p> <p>材質：a から h のいずれかとする。</p> <p>a. 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3302)</p> <p>b. 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317)</p> <p>c. 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3318)</p> <p>d. 溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3321)</p> <p>e. ポリ塩化ビニル被覆金属板及び金属帯 (JIS K 6744)</p> <p>f. 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3323)</p> <p>g. 熱間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4304)</p> <p>h. 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305)</p> <p>厚さ (mm) : 0.8±0.08 以上</p> <p>寸法 (mm) : 幅 50 (±0.3) 以上、高さ 48.8 (±0.3) 以上</p> <p>上部と下部のツメの総掛かり面積 (mm<sup>2</sup>) : 263.7±16 以上</p> <p>留付け間隔 (mm) : 水平方向 610 以下、鉛直方向 455 (±3.0) 以下</p> <p>塗装：a 又は b のいずれかとする。</p> <p>a. なし</p> <p>b. エポキシ樹脂塗装</p> <p>塗布量：80g/m<sup>2</sup> 以下</p>
通気層用防 水紙 (必要に 応じて取付 ける)	<p>種類：a から d 又はそれらの組み合わせのいずれかとする。</p> <p>a. 合成高分子系シート (アルミ層付きを含む)</p> <p>b. アスファルトフェルト 規格：JIS A 6005</p> <p>c. 改質アスファルトフェルト</p> <p>d. 透湿防水シート (アルミ層付きを含む)</p> <p>質量 (kg/m<sup>2</sup>) : 1.02 以下 (2 枚張りでの合計)</p> <p>張り上げ枚数：1 枚又は 2 枚</p>
防湿シート (必要に応 じて取付け る)	<p>種類：a から g のいずれかとする。</p> <p>a. 住宅用プラスチック系防湿フィルム 規格：JIS A 6930</p> <p>b. プラスチックシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリエチレン系</li> <li>・ポリプロピレン系</li> <li>・ポリエステル系</li> <li>・ポリ塩化ビニル系</li> <li>・ポリスチレン系</li> <li>・オレフィン系</li> </ul> <p>c. 透湿防水シート (アルミ蒸着したもの、アルミ箔を貼り付けたものを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリエチレンフィルム</li> <li>・ポリプロピレン系樹脂</li> <li>・ポリエステル系樹脂</li> </ul> <p>d. 包装用ポリエチレンフィルム 規格：JIS Z 1702</p> <p>e. 農業用ポリエチレンフィルム 規格：JIS K 6781</p> <p>f. アスファルトフェルト 規格：JIS A 6005</p> <p>g. 改質アスファルトフェルト</p> <p>重量 (kg/m<sup>2</sup>) : 0.51 以下</p>

項	目	製品仕様
副構成材料	陶磁器質板の縦目地部の処理(必要に応じて処理する)	<p>種類：a から f のいずれか、又は 2 以上の組み合わせとする。</p> <p>a. ハット形ジョイナー</p> <p>種類：下記のいずれかとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697)</li> <li>・ 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302)</li> <li>・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312)</li> <li>・ 電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3313)</li> <li>・ 溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3314)</li> <li>・ 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317)</li> <li>・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3318)</li> <li>・ 塗装ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 3320)</li> <li>・ 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3321)</li> <li>・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322)</li> <li>・ 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3323)</li> <li>・ 溶融亜鉛-11%アルミニウム-3%マグネシウム-0.2%シリコン合金めっき鋼板</li> <li>・ 一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)</li> <li>・ 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯(JIS G 3131)</li> <li>・ 冷間圧延鋼板及び鋼帯(JIS G 3141)</li> <li>・ 熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)</li> <li>・ 冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)</li> <li>・ 耐熱鋼板及び鋼帯(JIS G 4312)</li> <li>・ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出型材(JIS H 4100)</li> <li>・ ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744)</li> </ul> <p>厚さ(mm)：0.16以上</p> <p>形状及び寸法(mm)：形状はa. 又はb. のいずれかとする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>a.</p>  <p>A : 7~10(±1)、B : 10(±1)以上、C : 10~40(±1)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>b.</p>  </div> </div> <p>b. バックアップ材</p> <p>材質：ポリエチレン系、ポリスチレン系、ポリプロピレン系、合成ゴム系、塩化ビニル系、ポリウレタン系</p> <p>使用量(g/m)：2.0<sub>±0.2</sub>以上</p> <p>c. シーリング材</p> <p>種類：以下のいずれかとする。</p> <p>シリコーン系、変成シリコーン系、ポリウレタン系、変成ウレタン系、アクリル系、アクリルウレタン系、ポリサルファイド系、変成ポリサルファイド系、ポリイソブチレン系、シリル化アクリレート系、ブチルゴム系、油性コーキング</p> <p>充填量(g/m)：50 以上</p> <p>d. ガスケット</p> <p>材質：ゴム系、塩化ビニル系</p> <p>使用量(g/m)：30<sub>±2.0</sub>以上</p>

項 目	製 品 仕 様
副構成材料 陶磁器質板の縦目地部の処理(必要に応じて取付ける)(つづき)	<p>e. H形ジョイナー 種類、厚さ：上記aと同じ 形状：H形 寸法：D) 4(±1)以上、E) 17~45(±1.6)、F) 4(±1)以上</p>  <p>f. 乾式水切り 材質：上記aハット形ジョイナーと同じ 寸法：鋼板の厚さt(mm)：0.16以上 幅w(mm)：30以上 高さh(mm)：17以上 長さL(mm)：4000以下</p> <p>止水材 材質：以下のいずれかとする。 EPDM系、ホットメルト系、変成シリコン系、なし 使用量(g/m)：5以上</p> 
内装材目地処理材(必要に応じて処理する)	<p>種類：a、b、又はaとb併用のいずれかとする。</p> <p>a. パテ 材質：せっこう系又は炭酸カルシウム系 使用量(g/m)：10以上</p> <p>b. ジョイントテープ 材質：ガラス繊維又は紙 幅(mm)：20以上 厚さ(mm)：0.05以上</p>
横棧(必要に応じて取付ける)	<p>種類：木材 材質：aからfのいずれかとする。</p> <p>a. 平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁のたて枠材 b. 日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、造作用製材または下地用製材 c. 日本農林規格に適合する針葉樹の構造用集成材または集成材 d. 日本農林規格に適合する構造用単板積層材または造作用単板積層材 e. 日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材または構造用たて継ぎ材 f. 平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材</p> <p>寸法(mm)：20×20以上</p>
目地テープ(必要に応じて取付ける)	<p>材質：aからiのうち、いずれかとする。</p> <p>a. 改質アスファルト系 b. ブチルゴム系 c. アクリル系 d. EPDMゴム系 e. アスファルト系 f. ポリエチレン系 g. ポリプロピレン系 h. ポリオレフィン系 i. 上記aからhにアルミニウム層を設けたもの</p> <p>厚さ(mm)：0.8±0.08以下 幅(mm)：100以下</p>



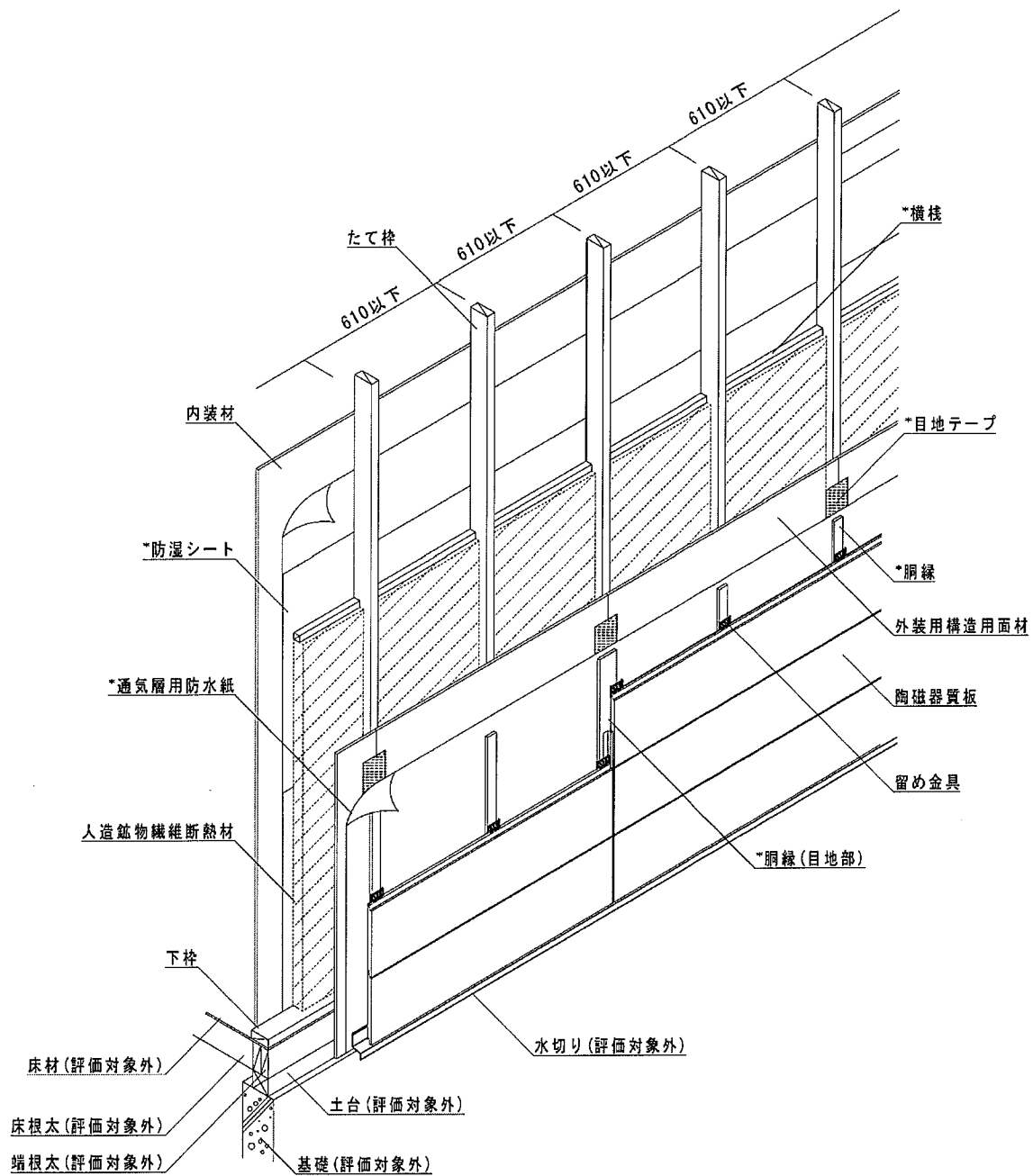
項	目	製 品 仕 様
副 構 成 材 料	くぎ、ねじ等	<p>留め金具固定用</p> <p>種類：ステンレス鋼製ねじ又は鋼製ねじ  寸法(mm)：呼び径φ4.2以上×長さ35以上  留め付け間隔(mm)  鉛直方向：455以下、水平方向：610以下  留め付け本数：1本又は2本</p> <p>胴縁固定用</p> <p>種類：aからcのいずれかとする。</p> <p>a. くぎ  材質：ステンレス鋼製又は鋼製  寸法(mm)：呼び径φ2.10以上×長さ38以上  留め付け間隔(mm)  鉛直方向：1200以下、水平方向：610以下</p> <p>b. ねじ  材質：ステンレス鋼製又は鋼製  寸法(mm)：呼び径φ3.0以上×長さ28以上  留め付け間隔(mm)  鉛直方向：1200以下、水平方向：610以下</p> <p>c. なし（胴縁がなしの場合）</p> <p>外装用構造用面材固定用</p> <p>種類：a又はbのいずれかとする。</p> <p>a. くぎ  材質：ステンレス鋼製又は鋼製  寸法(mm)：呼び径φ2.10以上×長さ38以上  留め付け間隔(mm)  周辺部：250以下、中央部：500以下</p> <p>b. ねじ  材質：ステンレス鋼製又は鋼製  寸法(mm)：呼び径φ2.1以上×長さ32以上  留め付け間隔(mm)  周辺部：250以下、中央部：500以下</p> <p>内装材固定用</p> <p>種類：a又はbのいずれかとする。</p> <p>a. くぎ  材質：ステンレス鋼製又は鋼製  寸法(mm)：呼び径φ1.85以上×長さ32以上  留め付け間隔(mm)  周辺部：200以下、中央部：300以下</p> <p>b. ねじ  材質：ステンレス鋼製又は鋼製  寸法(mm)：呼び径φ2.1以上×長さ25以上  留め付け間隔(mm)  周辺部：250以下、中央部：500以下</p>

項	目	製 品 仕 様
副 構 成 材 料	くぎ、ねじ等	<p>断熱材固定用 種類：ステーブル 材質：ステンレス鋼製又は鋼製 寸法(mm)：幅 10 以上、足長 6 以上 留め付け間隔(mm)：500 以下</p> <p>通気層用防水紙固定用 種類：a 又は b のいずれかとする。 a. ステーブル 材質：ステンレス鋼製又は鋼製 寸法(mm)：幅 10 以上、足長 6 以上 留め付け間隔(mm)：鉛直方向 1000 以下、水平方向 1830 以下 b. なし(通気層用防水紙がなしの場合)</p> <p>防湿シート固定用 種類：a から e のいずれかとする。 a. ステーブル 材質：ステンレス鋼製又は鋼製 寸法(mm)：幅 10 以上、足長 6 以上 留め付け間隔(mm)：鉛直方向 1000 以下、水平方向 1830 以下 b. 改質アスファルト系粘着テープ 厚さ(mm)：1.1±0.11 以下 幅(mm)：100 以下 c. ブチル系粘着テープ 厚さ(mm)：1.0±0.1 以下 幅(mm)：100 以下 d. アクリル系粘着テープ 厚さ(mm)：0.5±0.05 以下 幅(mm)：100 以下 e. なし(防湿シートがなしの場合)</p>

項	目	製 品 仕 様
副 構 成 材 料	くぎ、ねじ等	<p>ハット形ジョイナー固定用 種類：a から c のいずれかとする。</p> <p>a. くぎ 材質：ステンレス鋼製又は鋼製 寸法(mm)：呼び径φ1.5 以上×長さ 19 以上 留め付け間隔(mm) 鉛直方向：1500 以下（千鳥）</p> <p>b. ねじ 材質：ステンレス鋼製又は鋼製 寸法(mm)：呼び径φ2.1 以上×長さ 16 以上 留め付け間隔(mm) 鉛直方向：1500 以下（千鳥）</p> <p>c. なし（ハット形ジョイナーがなしの場合）</p> <p>乾式水切り固定用 種類：a から c のいずれかとする。</p> <p>a. くぎ 材質：ステンレス鋼製又は鋼製 寸法(mm)：呼び径φ1.5 以上×長さ 19 以上 留め付け間隔(mm) 鉛直方向：1500 以下（千鳥）</p> <p>b. ねじ 材質：ステンレス鋼製又は鋼製 寸法(mm)：呼び径φ2.1 以上×長さ 16 以上 留め付け間隔(mm) 鉛直方向：1500 以下（千鳥）</p> <p>c. なし（乾式水切りがなしの場合）</p> <p>横棧固定用 種類：a から c のいずれかとする。</p> <p>a. くぎ 材質：ステンレス鋼製又は鋼製 寸法(mm)：呼び径φ2.0 以上×長さ 45 以上 間隔：1 か所につき 2 本以上</p> <p>b. ねじ 材質：ステンレス鋼製又は鋼製 寸法(mm)：呼び径φ2.4 以上×長さ 38 以上 間隔：1 か所につき 2 本以上</p> <p>c. なし（横棧がなしの場合）</p>

4. 構造説明図  
 4. 1  
 (1) 透視図

(単位：mm)

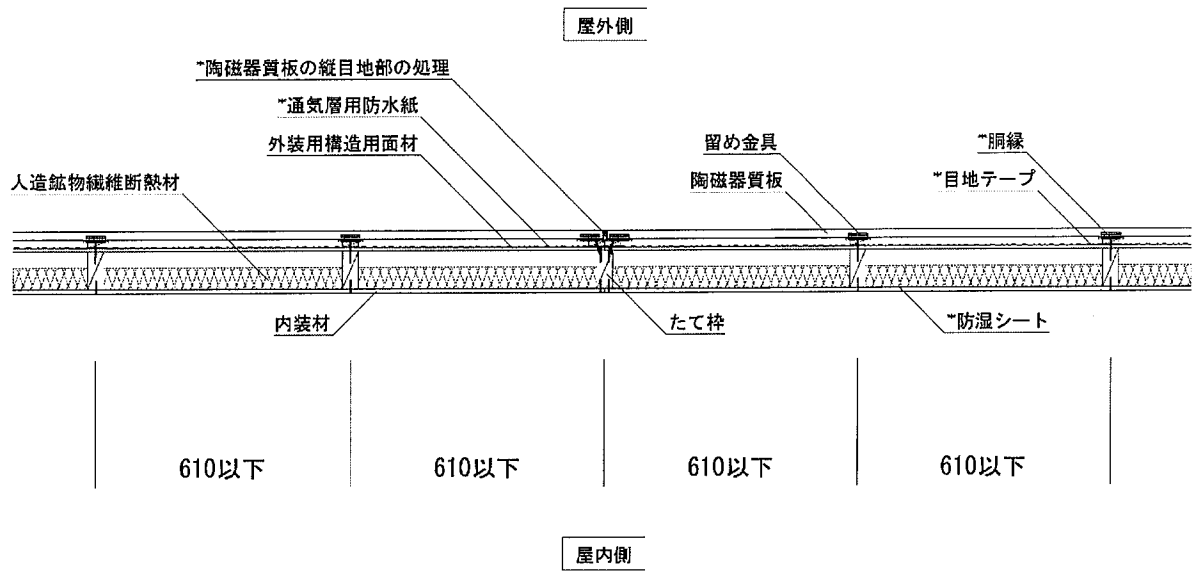


\*を付けたものは必要に応じて使用する。

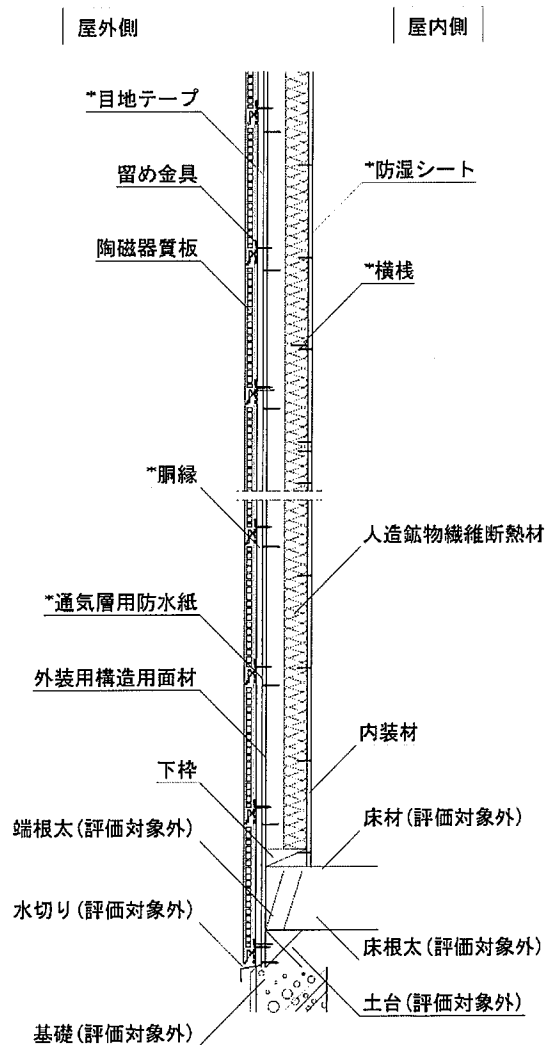
(2) 断面図

① 水平断面図

(単位：mm)



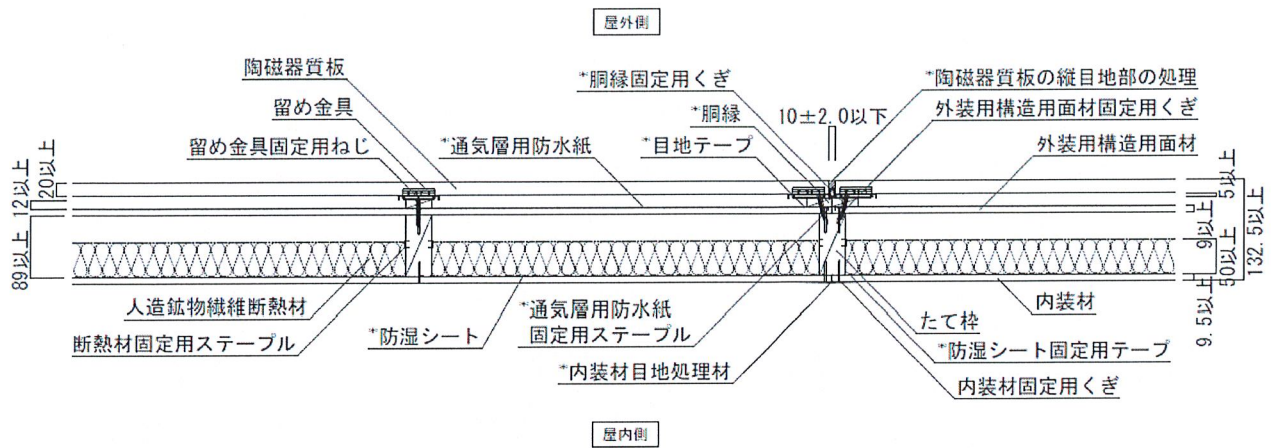
② 鉛直断面図



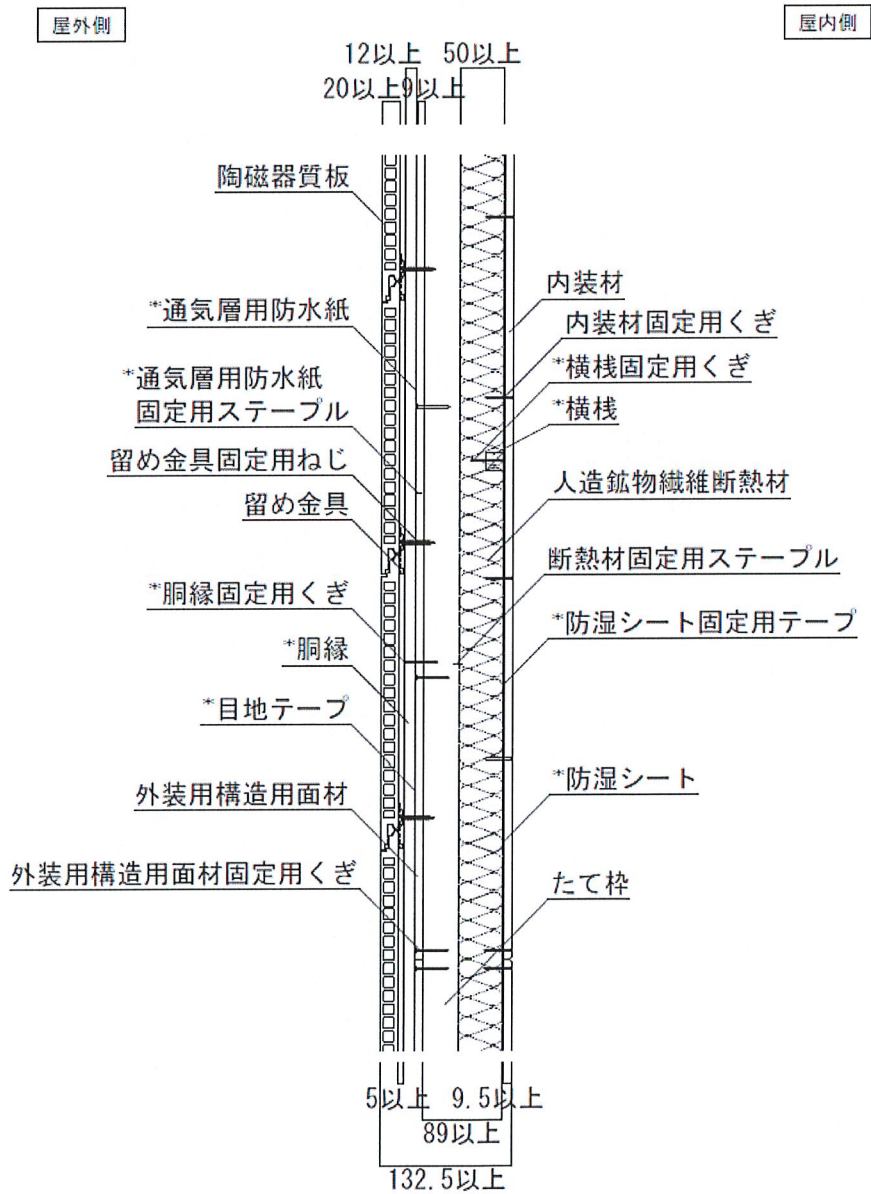
\*を付けたものは必要に応じて使用する。

③ 水平断面詳細図

(単位：mm)



④ 鉛直断面詳細図



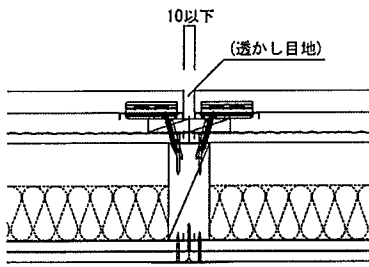
\*を付けたものは必要に応じて使用する。

4. 2 陶磁器質板の短辺方向の目地の種類(例示)

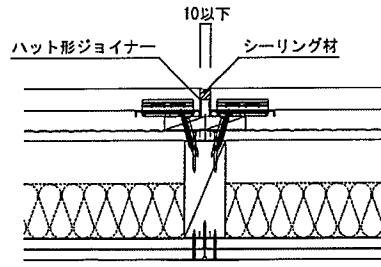
(単位: mm)

①目透かし目地

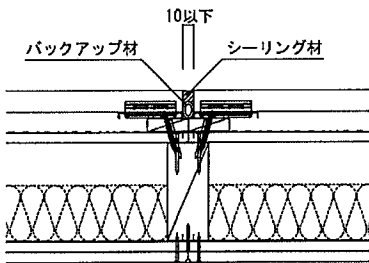
(1) バックアップ材・シーリング材処理



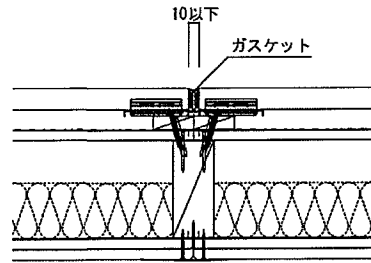
(2) ハット形ジョイナー・シーリング材処理



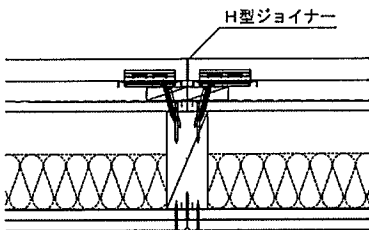
(3) バックアップ材・ガスケット処理



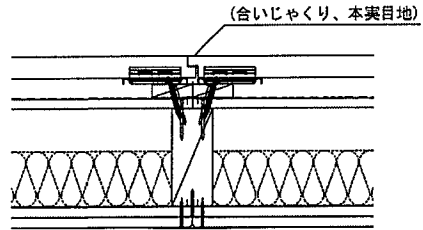
(4) ガスケット処理



② H形ジョイナー目地

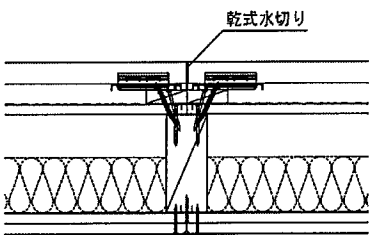


③ 合いじゃくり目地

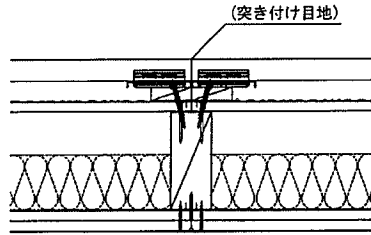


④ 突き付け目地

(1) 乾式水切り目地処理



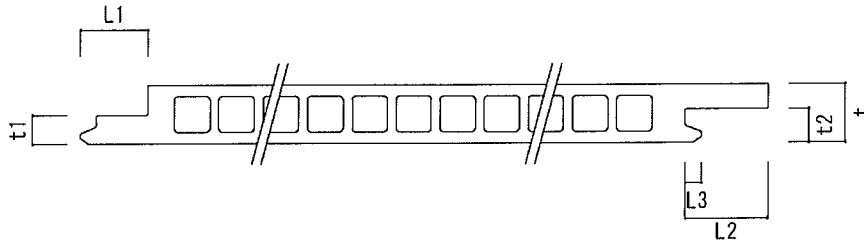
(2) 目地処理なし



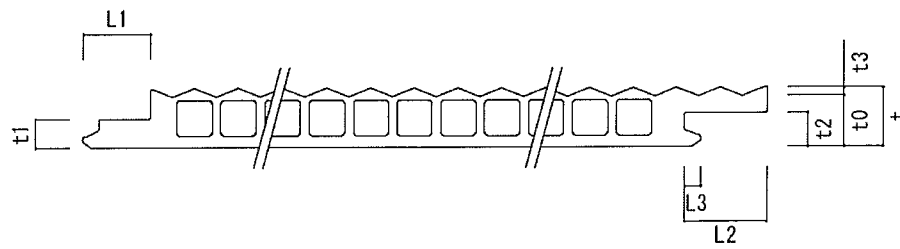
#### 4. 3 陶磁器質板の形状・寸法表記

##### ① 短辺方向の断面形状

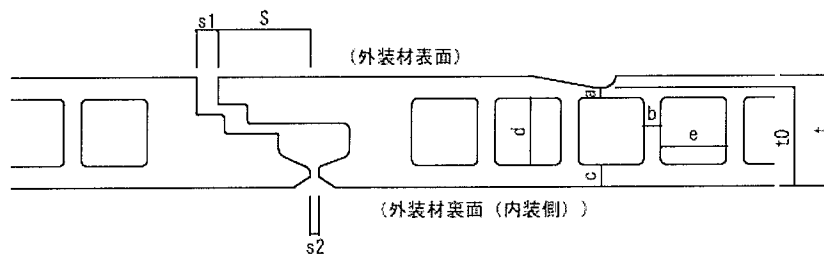
a. 平滑



b. エンボス・溝模様

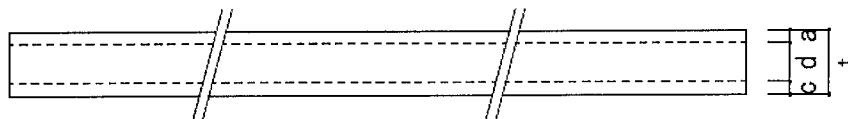


c. 中空部断面図

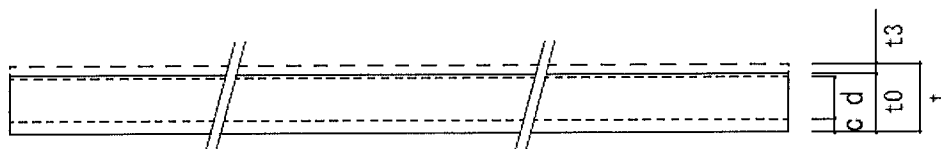


##### ② 長辺方向の断面形状

a. 平滑



b. エンボス・溝模様





③各部の寸法

(単位：mm)

(1) 合じゃくり部の寸法

厚さ：t	t1	t2	L1	L2	L3
20～30 ±1.6	7～15 ±0.5	8～16 ±0.5	21～26 ±1.0	26～32 ±1.0	5～7 ±0.5

(2) 中空部の寸法、中空率

厚さ：t	a	b	c	d	e	中空率(%)
20～30 ±1.6	2.4±0.6 以上	2.5±0.8 以上	3.2±0.8 以上	$t_0 - (a+c)$	1.2t 以下	51±5.0 以下*

※ 被覆材全体積(合いじゃくり部を除く)に対する中空部の面積の割合

※ 厚さ t が 20 を超える場合は厚さを増した分だけ d の長さを増し、中空率を上げることができる。

(3) 目地部の重なり、隙間

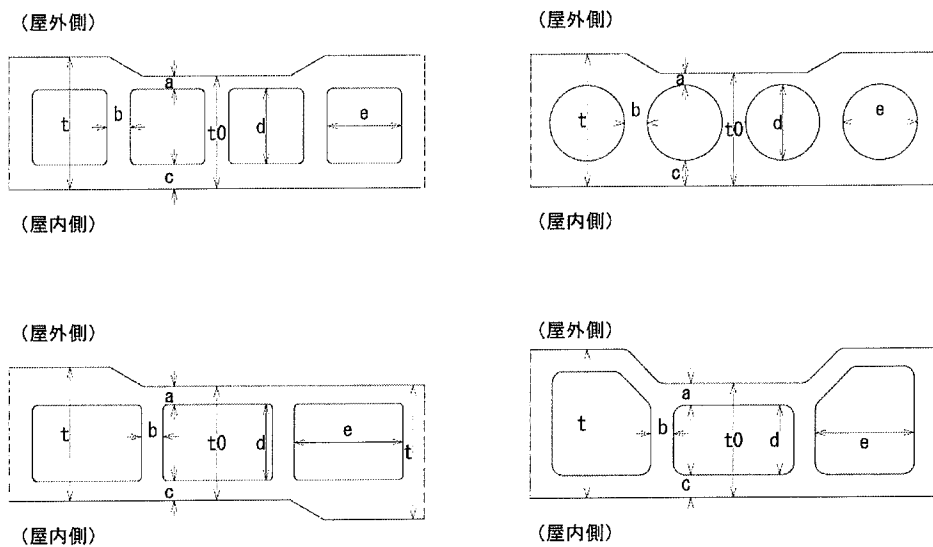
厚さ：t	S	s1	s2
20～30 ±1.6	19±2.0 以上	4±1.0 以下	3.6±1.0 以下

(4) エンボス・溝模様の深さ、最小厚さ及び容積欠損率

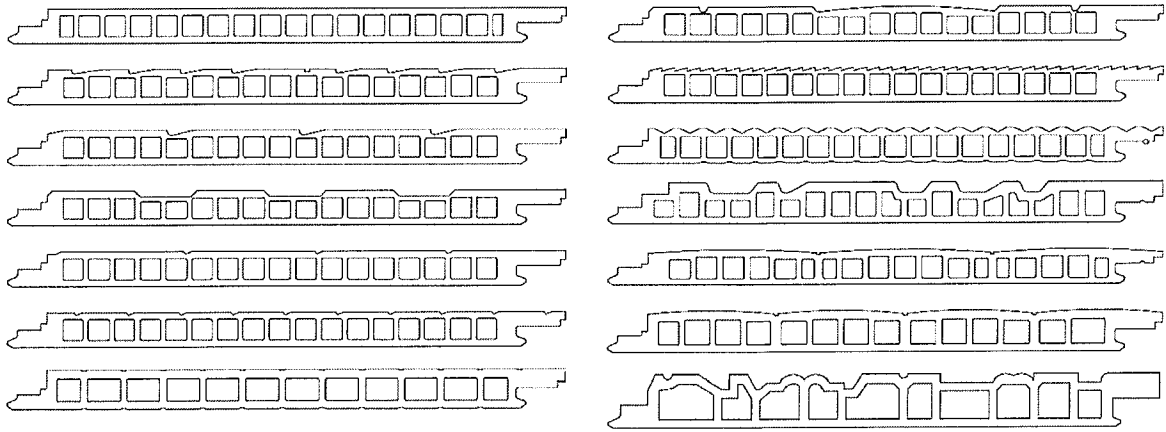
厚さ：t	エンボス・溝の深さ：t <sub>3</sub>	最小厚さ：t <sub>0</sub>	容積欠損率(%)
20～30 ±1.6	3.0±0.5 以下	17±1.0 以上	6.0 以下*

※ 被覆材全体積(合いじゃくり部を除く)に対する被覆材裏面から 20mm 以下のエンボス・溝模様の欠損容積の割合

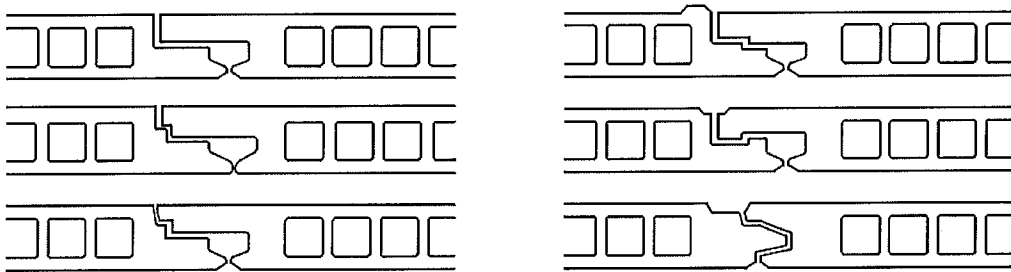
④中空形状図 (例示)



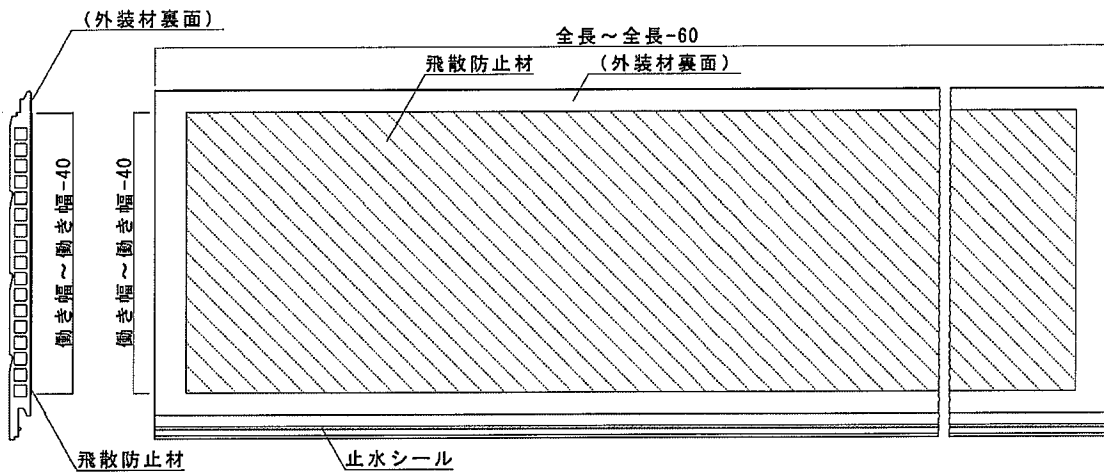
⑤断面形状図（例示）



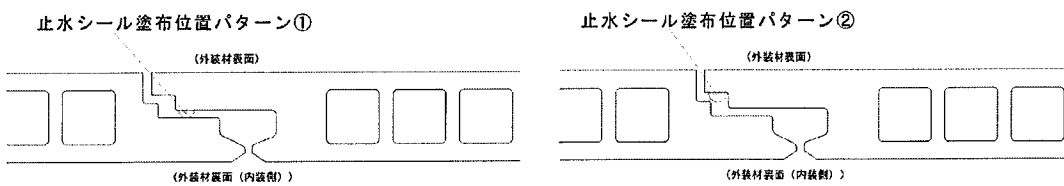
⑥上下合いじゃくり部の断面形状図（例示）



⑦飛散防止材取り付け位置図



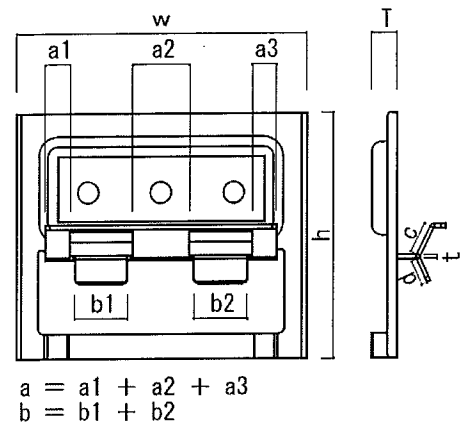
⑧止水材塗布位置図（例示）



#### 4. 4 留め金具の形状・寸法

(単位：mm)

- ・ 鋼板の厚さ(t) :  $0.8 \pm 0.08$  以上
- ・ 幅(w) :  $50 \pm 3.0$  以上
- ・ 高さ(h) :  $48.8 \pm 3.0$  以上
- ・ 幅と高さの合計 (= w+h) :  $98.8 \pm 5.0$  以上
- ・ 間隔 水平方向 610 以下  
鉛直方向  $455 (\pm 3.0)$  以下
- ・ 上部と下部のツメの総掛かり面積  
[ $(a \times c) + (b \times d)$ ]  $263.7 \pm 16 \text{mm}^2$  以上
- ・ a : 上部ツメの幅又は総幅 ( $24.4 \pm 0.4$  以上)
- ・ b : 下部ツメの幅又は総幅 ( $22 \pm 0.4$  以上)
- ・ c : 上部ツメの長さ ( $6.3 \pm 0.3$  以上)
- ・ d : 下部ツメの長さ ( $5.0 \pm 0.2$  以上)
- ・ T : 陶磁器質板の浮かし寸法  $5 \pm 1$  以上



(なお、寸法等の壁厚には、陶磁器質板の浮かし分(T)の寸法を含む)

## 5. 施工方法

### <施工手順>

#### (1) 躯体構造の施工状態確認

- ・たて枠は、反り、曲がりのないものを使用し、土台に垂直に610mm以下の間隔で取り付ける。

#### (2) 横桟を取り付ける場合

- ・内装材、外装用構造用面材の横目地部には、横桟を横桟固定用留付け材にて、たて枠の側面に取り付ける。

#### (3) 外装用構造用面材の取り付け

- ・外装用構造用面材留付け材を用いて、たて枠、上枠及び下枠等に取り付ける。
- ・必要に応じて、外装用構造用面材の表面目地部分に目地テープを取り付ける。

#### (4) 通気層用防水紙を張る場合

- ・通気層用防水紙固定用留付け材を用いて、外装用構造用面材の表面に横張りで張り付ける。なお、張り付けはできるだけたるみ・しわのないように張り付ける。必要に応じて、同様の手順で2枚張りとする。
- ・通気層用防水紙自身は固定せず（スプレーのり等で仮固定し）、外装用構造用面材や胴縁、留め金具の留付けで抑える形での張り付け方法も取り得る。

#### (5) 胴縁を取り付ける場合

- ・胴縁固定用留付け材を用いて、たて枠ピッチに取り付け、不陸のないように調整する。

#### (6) 陶磁器質板の取り付け

- ・陶磁器質板は、留め金具（スターターでも良い）にはめ込みながら張り上げる。
- ・陶磁器質板の縦目地部は、たて枠、胴縁などの下地がある場所で合わせる。
- ・陶磁器質板の取り付けは、目地通りよく、不陸、目違い等のないように行う。
- ・陶磁器質板の目地処理は、例として以下の方法で行う。

##### ① シーリング材又はガスケットとバックアップ材の併用目地

- ・目地幅は10(±1)mm以下とし、バックアップ材を用いて、その上に隙間が生じないようにシーリング材又はガスケットを充てんする。

##### ② シーリング材とハット形ジョイナーの併用目地、又はガスケット目地

- ・目地幅は10(±1)mm以下とし、ガスケットを充填、又はハット形ジョイナーを用いて、その上に隙間が生じないようにシーリング材を充てんする。

##### ③ 突付け目地

- ・必要に応じて、乾式水切りをたて枠などの下地に乾式水切り固定用留付け材を用いて固定する。
- ・陶磁器質板は、端部を密着させて陶磁器質板同士の隙間が生じないように取り付ける。

##### ④ 合いじゃくり・本実目地

- ・陶磁器質板の重ね代及び隙間は、指定寸法を確保し、上実・下実のいずれかの端部は相互に密着させるように張り付ける。

#### (7) 人造鉱物繊維断熱材の取り付け

- ・たて枠、上枠及び下枠の周囲に隙間が生じないように均一に充填し、断熱材固定用留付け材を用いてたて枠の側面等に取り付ける。規格パネル等で仕切られている場合は、充填のみの仕様も取り得る。

#### (8) 防湿シートを張り付ける場合

- ・防湿シートの張り上げは、横張りを基本とする。
- ・防湿シート固定用留付け材を用いて、たて枠、上枠及び下枠の表面に固定する。なお、張り付けはできるだけたるみ・しわのないように張り付ける。
- ・防湿シート自身は固定せず（スプレーのり等で仮固定し）、内装材の留付けで抑える形での張り付け方法も取り得る。

#### (9) 内装材の取り付け

- ・内装材は、内装材固定用留付け材を用いて、たて枠、上枠及び下枠等に取り付ける。
- ・内装材の目地部には、必要に応じて内装材目地処理材を施し、内装材表面を平滑に仕上げる。